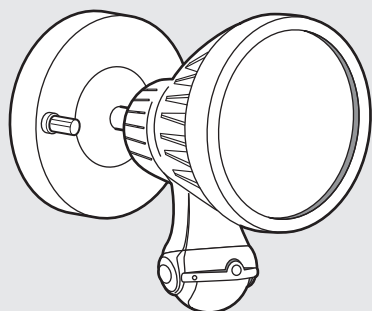


LA-11PRO (BL) / (S) 取扱説明書

販売店様・工事店様へ

取り付けが終わりましたら、
この取扱説明書をお客様に
お渡し願います。



- ・この度は LA-11PRO をご購入いただき、まことにありがとうございます。
- ・お取り付けになる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ・この取扱説明書をお読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。
- ・この製品は盗難・災害・事故などを防止するものではありません。なお万一発生した盗難・災害・事故による損害については責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・この製品は日本国内用です。海外ではご使用にならないでください。

もくじ

特長	1
はじめに	2
安全にお使いいただくために	2
1 お使いになる前に	3
各部の名称と付属品	3
取付場所を決めるときのご注意	3
2 LA-11PRO の取付	4
本体を取り付ける前に	4
取付場所と施工上のご注意	4
本体の取付方法	4
3 LA-11PRO の調節	6
ライト部の角度を調節する	6
検知エリアの距離と角度を調節する	7
検知エリアマスキングカバーで検知エリアを狭くする	7
検知エリア図	8
動作テスト	9
点灯時間と点灯開始照度の設定	9
連続点灯モードの設定	10
4 「おかしいな…」と思ったら	10
動作表示灯の見かた	10
思ったように動作しないときは	11
5 お手入れ	12
外形寸法図	12
仕様	12

特 長

- スッキリ簡単取り付け**
フランジ&電源直結式(コネクタ接続)方式採用。壁面などにスッキリ美観よく、簡単に取り付け可能です。
- 消し忘れの心配がなく省エネ**
人がいなくなってから一定時間が過ぎると自動的に消灯。消し忘れがなく経済的です。
- LEDだから省エネで長寿命**
高輝度LEDを採用。電球よりも省エネで、しかも長寿命です。
- 自由自在の角度調整**
ライトとセンサーの角度が個別に調節可能。
独立二軸構造で、ライト部は上下／左右に、センサー部は、下向きと左右に動かせます。
- 天井面にも取り付け可能**
天井面にも取り付け可能。明かりが欲しい様々な場所に設置いただけます。
- 作業灯に便利な「連続点灯モード」搭載**
センサーに関係なく、ライトが点灯し続ける「連続点灯モード」搭載。カーポートや物置、庭での作業などに便利です。
- 明るさを感じる「照度センサー」内蔵**
周囲の明るさを判別する「照度センサー」を内蔵。昼間は点灯せず、夜間のみ点灯が可能です。
- 屋外でも安心の防雨タイプ**
直接雨がかかっても影響を受けない防雨タイプ(JIS防噴流型IPX5)なので、屋外にも安心して設置いただけます。

はじめに

■絵表示について

本書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のとおりです。十分ご理解のうえ、本書をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が負傷する可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例



- 記号は禁止を示しています。
図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



- 記号は行為を強制したり指示する内容を示しています。

安全にお使いいただくために



警告



燃えやすいものの近くで使用禁止

燃えやすいものの近くで使用しないでください。また布や紙などで覆わないでください。昼でも本体に布や紙などがかぶさると点灯しますので、火災の原因となります。また、人がいなくてもセンサーで点灯することがありますので、特にご注意ください。



取付方法を守る

取付には方向性があります。安全のため必ず取付方向を確認し、この取扱説明書に従って正しく取り付けてください。センサーの誤動作や浸水による器具破損や、器具の落下によるけが、火災、感電の原因となります。



取付場所に注意

温度の高くなる物の上や、ガス機器やその排気口の上に取り付けしないでください。火災の原因となります。また、振動や衝撃の多い場所、腐食性ガスの発生する場所、海岸隣接地域では使用しないでください。火災、感電、器具の落下によるけがの原因となります。



取付、取り外しは専門家に依頼

取付、取外しは必ず工事店、電気店（有資格者）に依頼してください。一般の方による電気工事は法律で禁止されています。取付、取外しはこの取扱説明書に従って確実に行ってください。火災、感電、器具の落下によるけがの原因となります。



異常なときは電源を切る

万一煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源を切り異常状態がおさまったことを確認してから、販売店、工事店にご連絡ください。お客様自身による修理は、危険ですとおやめください。



感電注意



濡れた手で、器具に触らないでください（雨などで濡れているときも触らないでください）。感電の原因となります。



お手入れ／点検時は、壁スイッチを切ってから作業してください。感電の原因となります。



やけど注意



ライトは高温になります。お手入れなどで器具を触るときは壁スイッチを切り、必ずライトが冷めていることを確認してから作業してください。やけどの原因となります。



分解・改造の禁止

お客様自身による修理、分解・改造は危険ですとおやめください。火災、感電の原因となります。



注意



水や湿気の多い所での使用禁止

この製品は防噴流型（IPX5）です。風呂場などの湿度の高い場所、水に浸かるおそれのある場所、水中などには取り付けしないでください。また、ホースなどで故意に水をかけないでください。火災、感電の原因となります。台風などの暴風雨の際は、直接風雨が当たらないように注意してください。器具落下、故障の原因となります。



100V 以外での使用禁止

必ず交流 100V で使用してください。交流 100V 以外で使用すると、火災、感電の原因となります。



定期清掃／点検の実施

適正な明るさで、また安全に使用していただくために、定期的に清掃／点検を実施してください。不具合が見つかった場合は使用を中止して、工事店、電気店（有資格者）にご連絡ください。



保護具の着用

取付や清掃／点検時は、ゴム手袋などの保護具を着用し、手指を保護してください。



長期ご使用時の交換

照明器具には寿命があります。取り付け 10 年以上が経過すると、外観に異常がなくても内部劣化は進行しています。長期にご使用いただいた場合は、必要に応じて製品を交換してください。



ライトを直視しない

点灯中のライトを直接見ないでください。視力を損なうおそれがあります。



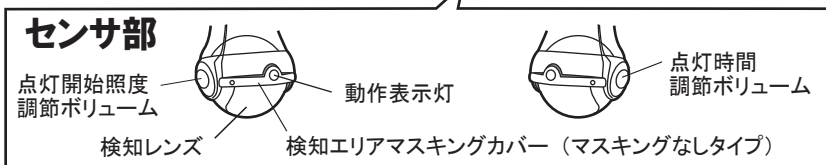
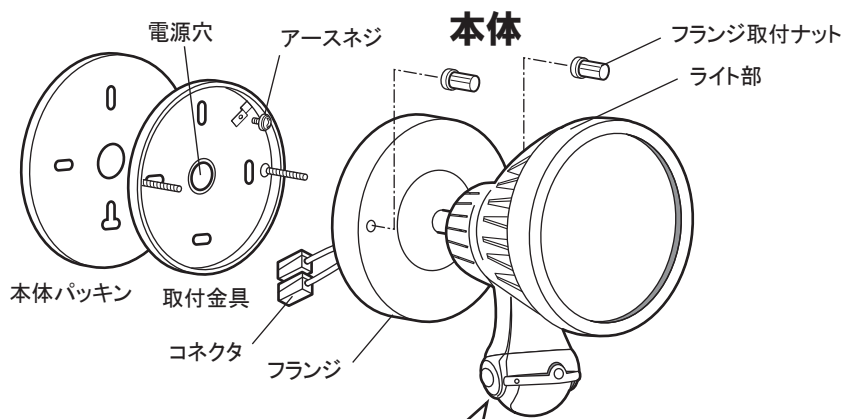
ぶら下がらない

ぶら下がったり無理な力をかけないでください。器具の落下や破損の原因となります。

1 お使いになる前に

各部の名称と付属品

お使いになる前に、本体と付属品が揃っているか、また破損していないかお確かめください。



付属品



取付場所を決めるときのご注意



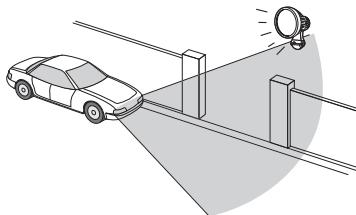
- ・人やものがぶつからない場所に取り付けてください。
- ・本体が落下しないように、安定した場所に取り付けてください。
- ・燃えやすいものの近くに取り付けしないでください。火災の原因となります。

次のような場所に取り付けると人がいなくても点灯したり、人がいるのに点灯しなかったりすることがあります。

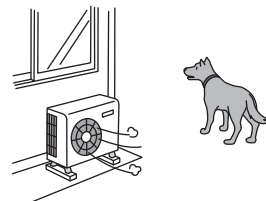
- ・検知エリア内に植木や洗濯物などの動くものがある場所



- ・検知エリアの正面から太陽や車のヘッドライトが直射する場所



- ・検知エリア内を犬や猫などが通る場所
- ・検知エリア内に熱源や風を出すもの（エアコンの室外機や換気扇など）がある場所

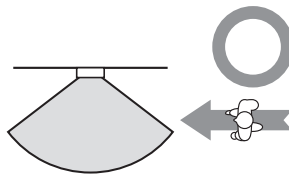
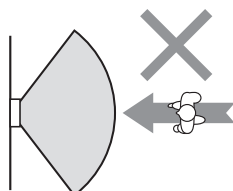


次のような場所に取り付けると、検知しにくい場合があります。

- ・建物脇の通路など狭い場所
- ・検知エリア内に反射の強い床面（大理石など）がある場所
- ・周囲に壁や塀などの検知エリアを遮るものがある場所（ガラスのような透明なものでも検知エリアを遮ると検知しません。）
- ・地面から 1.8m 以下の場所、地面から 3m 以上の場所



- ・取り付け後は必ず動作テストを行い、正しく検知することを確認してください。
- ・敷地外でも検知する場合は、検知エリアを調節してください。
- ・本製品は、検知エリア内に人が入ったときの温度変化を検知します。検知エリア内で静止している人や物は検知しません。検知エリアの大きさは、周囲の温度、移動速度、侵入方向、服装、体温、取付の状態などで変化します。
- ・センサーに対して人が正面から近づくと検知しにくいことがあります。できるだけ検知エリアを横切るように取り付けてください。



2

LA-11PROの取付

本体を取り付ける前に



警告



燃えやすいものの近くで使用しないでください。また布や紙などで覆わないでください。火災の原因となります。



ライトは高温になります。壁スイッチを切り、必ずライトが冷めていることを確認してから作業してください。やけどの原因となります。



濡れた手で、本体に触らないでください（雨などで濡れているときも触らないでください）。感電の原因となります。

取付場所と施工上のご注意

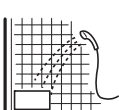
◎屋外用



屋外



浴室



浴室等の湿気の多いところではご使用できません。火災、感電の原因となります。

◎壁面 / 天井面取付兼用



壁面



天井面



傾斜天井



据置取付

◎補強してください

補強材



木ネジ

取付面



補強材

なし

器具の質量に耐えるところに確実に取り付けてください。取付に不備があると落下し、感電、けがの原因となります。



警告

本体パッキンが密着する平らな面に取り付けてください。凹凸のある面に取り付けると防水性が損なわれ、感電、火災、器具破損の原因となります。



凹凸のない取付面
(本体パッキンが密着する面)



凹凸のある取付面
※必ず防水シール材で隙間を埋めてください。



取付面が本体パッキンより小さい場所には取り付けられません。

◎その他のご注意

◎必ず壁スイッチを取り付けてください。

なお、ホタルスイッチ等はご使用になれません。

◎ライトコントローラー（調光器）のついている回路ではご使用になれません。故障、誤動作の原因となります。

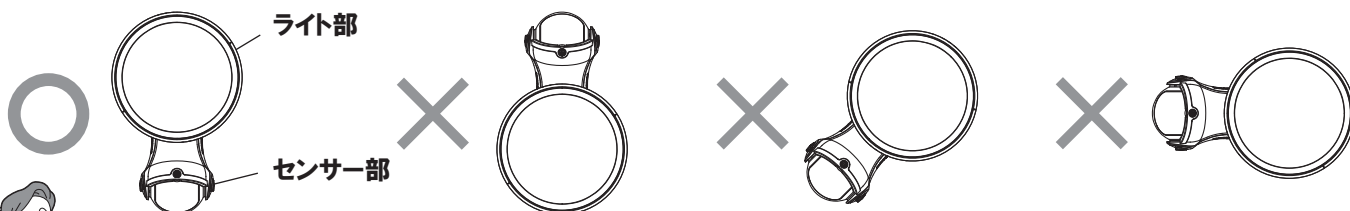
◎人が触れるおそれがないように取り付けてください。

本体の取付方法

本体は、センサー部がライト部に対して真下に位置するように取り付けてください。

またライト部が地面に対して水平より下向きになるように取り付けてください。

センサー部が地面に対して逆さまや、斜めや横になるように取り付けますと、人を検知しなかったり、雨水が入り故障や漏電の原因となります。



取付高さは、1.8m ～ 3m を目安に取り付けてください。センサーの特性上、3m を越える高い場所に取り付けると検知しにくくなり、点灯しない場合があります。



警告

取付が完了するまでブレーカーを落としてください。感電および破損のおそれがあります。

1 本体パッキン・取付金具を取り付けてください。

本体パッキンを直接取り付ける場合

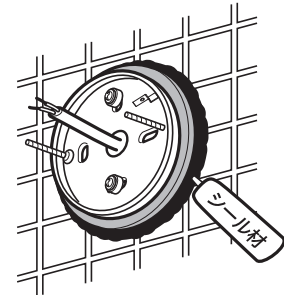
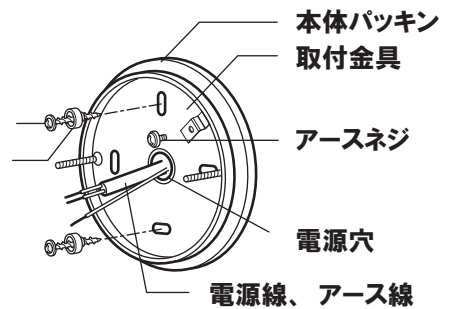
- ① 電源線とアース線を電源穴に通してから、付属の絶縁ブッシング・木ネジで取り付けてください。取り付け後、アース線を取付金具のアースネジに接続してください。
- ② 取付面全体を防水シール材などで平らにし、更にパッキン外周部にもシール材などを塗りつけて、**確実に防水処理**をしてください。



警告

- ・必ずD種（第三種）接地工事をおこなってください。接地が不完全な場合、感電、火災の原因となります。
- ・本体パッキンと取付面との隙間は防水シール材などで確実に埋めてください。防水処理が不完全な場合、感電、火災、器具落下によるけがの原因となります。

木ネジ
絶縁ブッシング
※絶縁のため必ず
ご使用ください。



市販の絶縁台を使用する場合

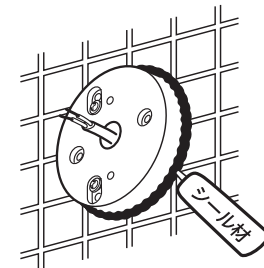
凹凸が大きくシール材で平らにしきれない取付面には、**絶縁台（市販品）**を使用すれば効果的な防水処理ができます。

※推奨絶縁台：オーデリック株式会社製 PF216B

- ① 電源線とアース線を絶縁台（市販品）の電源穴に通してから、器具本体付属の木ネジで取り付けてください。絶縁ブッシングは不要です。
- ② 絶縁台の外周に防水シール材などを塗り、取付面との隙間を埋め、**確実に防水処理**をしてください。
- ③ 電源線とアース線を本体パッキンと取付金具の電源穴に通してから、絶縁台（市販品）付属のワッシャー・取付ネジで絶縁台の取付用穴に取り付けてください。取り付け後、アース線を取付金具のアースネジに接続してください。

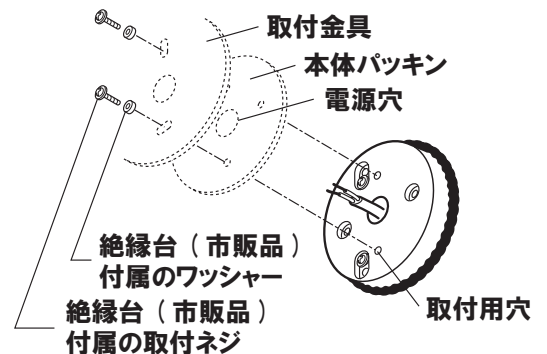
絶縁ブッシング

→ 取る

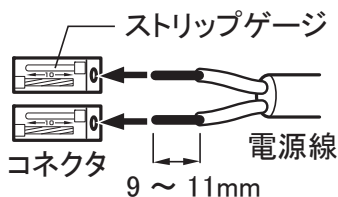


警告

- ・必ずD種（第三種）接地工事をおこなってください。接地が不完全な場合、感電、火災の原因となります。
- ・本体パッキンと取付面との隙間は防水シール材などで確実に埋めてください。防水処理が不完全な場合、感電、火災、器具落下によるけがの原因となります。



2 電源線をコネクタに接続してください。



電源線を9～11mmむき出し、先端がコネクタの奥に突き当たるまで差し込みます。

電源線を引っ張り、確実に結線されているか確認してください。

※適合電源線：単線（銅）
φ1.6～φ2.0mm

【電源線ははずす場合】

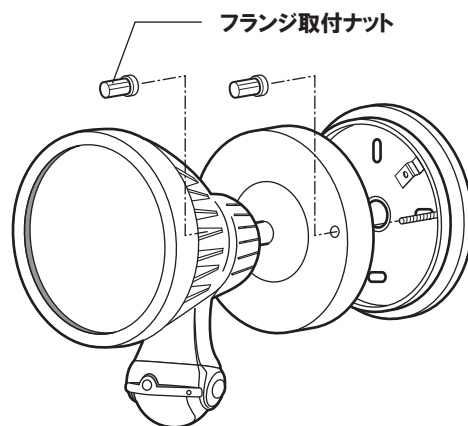


- 傷ついたり、むき出し長が不適切な電線は、接触不良、絶縁不良等による発熱・焼損のおそれがあります。
- 曲がった電線は挿入不足となり、発熱による焼損や火災のおそれがあります。

3 本体を取り付けてください。

フランジの穴に取付金具のネジを通し、
フランジ取付ナットで固定してください。

※推奨締付トルク：0.8N・m



3 LA-11PROの調節

ライト部の角度を調節する



警告



燃えやすいものの近くで使用しないでください。また布や紙などで覆わないでください。
火災の原因となります。



ライトは高温になります。壁スイッチを切り、必ずライトが冷めていることを
確認してから作業してください。やけどの原因となります。

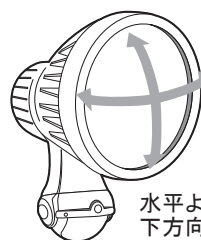


濡れた手で、本体に触らないでください（雨などで濡れているときも触らないでください）。
感電の原因となります。

1 ライト部の角度を調節します。

ボールジョイント構造によりライト部は上下左右に動きます。
ライト部の角度調節の際は、センサー部がライト部に対して
真下に位置するように調節してください。
またライト部が地面に対して水平より下向きになるように調節
してください。

水平より
上方向に約 70°



左右方向に
それぞれ約 50°

水平より
下方向に約 50°

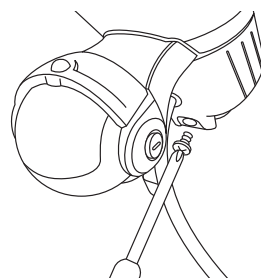
2 ライト部を固定します。

角度調整後は必ず、本体下部（ボールジョイント付近）から
ボールジョイント固定ネジ（M4 X 10）にて締め付けて固定してください。

※推奨締付トルク：1.2N・m



ボールジョイント固定ネジを締め付ける際は、強く締め
付けないように注意してください。
ボールジョイントの動きが鈍くなったり、破損の原因と
なります。

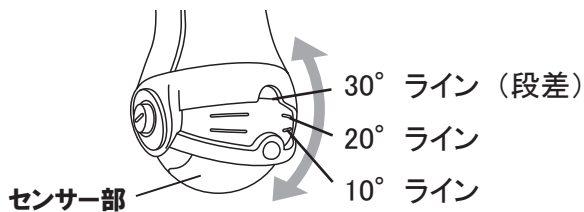


検知エリアの距離と角度を調節する

本体を持ち、センサー部を下、左右に動かして調節します。

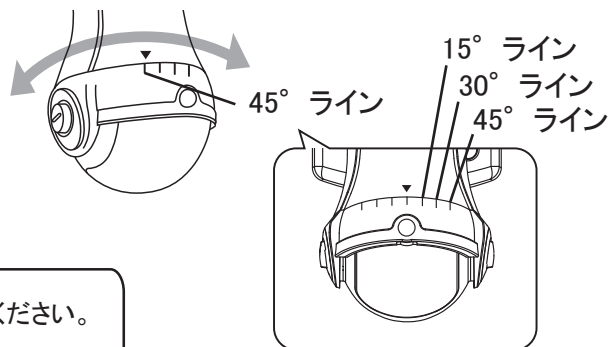
・下方向：30° まで可動

30° ライン（段差）を越えないように注意してください。



・左右方向：各 45° まで可動

各 45° ラインを越えないように注意してください。

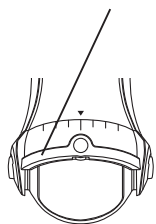


可動範囲を超える方向に無理に力を加えないでください。
破損の原因となります。

検知エリアマスキングカバーで検知エリアを狭くする

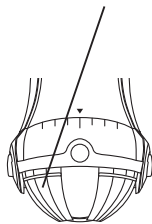
左右の検知エリアを狭くしたい場合は、付属の「検知エリアマスキングカバー」を使用して調節できます。
出荷時にセンサー部に装着されている「検知エリアマスキングカバー（マスキングなしタイプ）」を、付属の「検知エリアマスキングカバー」に付け替えると、カバーで覆われた範囲はセンサーが検知しなくなります。

出荷時に装着されている
検知エリアマスキングカバー
（マスキングなしタイプ）

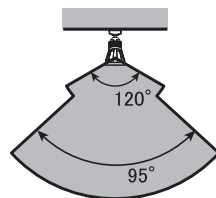


付け替える

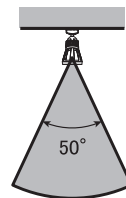
付属の検知エリアマスキングカバー
に付け替えた場合



出荷時に装着されている
マスキングカバーの検知エリア



付属のマスキングカバーに
付け替えた場合の検知エリア



（本体を取付高さ 2.5m、下に約 20° 傾けた状態で、
センサーは上下左右 0° の位置の場合）

検知エリアが
狭くなる

付属のマスキングカバーの切り取り部分
をニッパーなどで切り取ることで、
狭くする範囲を調節できます。
切り取り部分が多いほど検知範囲は
広がります。

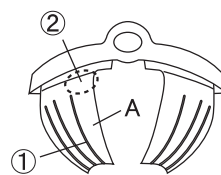
切り取り部分



切り取り部分

切り取り部分

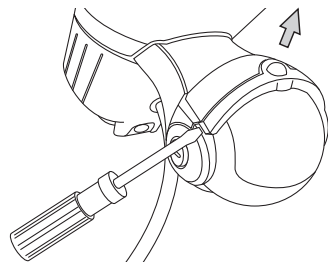
【切り取り方】



A の部分を切り取る時は
最初に①の部分を切り
取り、次に②の部分
を切り取ります。

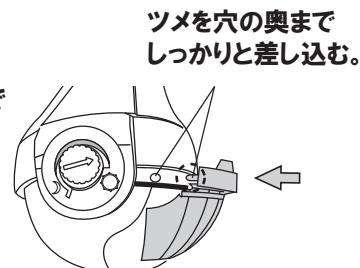
【マスキングカバーの外し方】

検知エリアマスキング
カバーの左右のすき間
にマイナスドライバーを
差し込み、本体正面
方向に向かって外して
ください。



【マスキングカバーのはめ方】

検知エリアマスキング
カバーの左右のツメを
センサー部の穴の奥まで
しっかりと差し込んで
ください。



ツメを穴の奥まで
しっかりと差し込む。

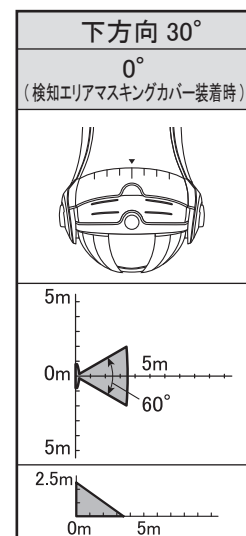
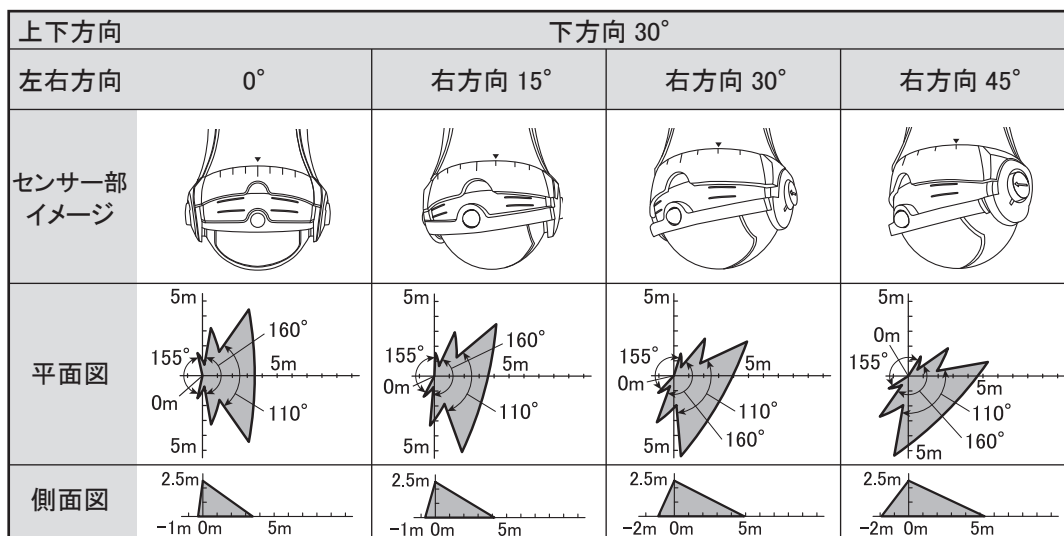
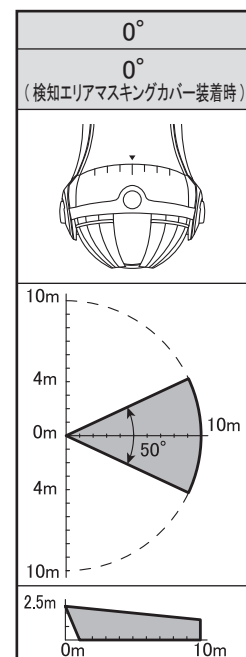
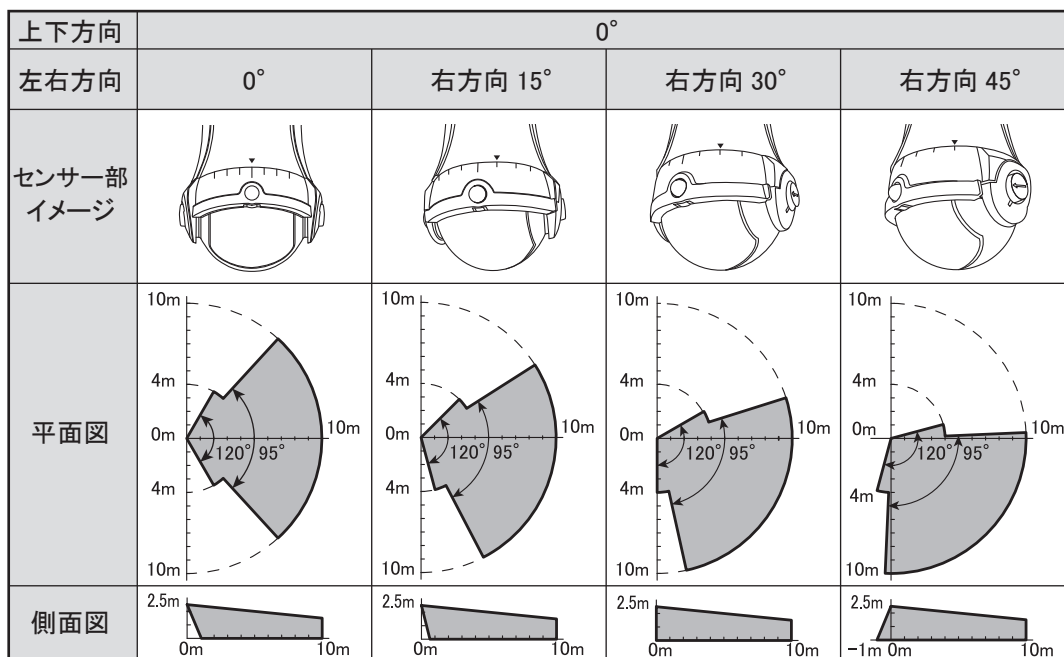
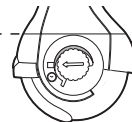


無理に力を加えないでください。破損の原因となります。

検知エリア図

本体が取付高さ 2.5m、下に約 20° 傾けた状態
(センサー部が地面に対して水平の状態) での検知エリア図です。

地面に対して水平の状態



- 本製品は、検知エリア内に人が入ったときの温度変化を検知します。検知エリア内で静止している人や物は検知しません。
- 検知エリアの大きさは、周囲の温度、移動速度、進入方向、服装、体温、取り付けの状態などで変化します。
- センサーに対して人が正面から近づくと検知しにくい場合があります。できるだけ検知エリアを横切るように取り付けてください。



- 次のような場所に取り付けると人がいなくても点灯したり、人がいるのに点灯しなかったりすることがありますので、注意してください。

- ・ 検知エリア内に植木や洗濯物などの動く物がある場所
- ・ 検知エリアの正面から太陽や車のヘッドライトが直射する場所
- ・ 検知エリア内を犬や猫などが通る場所
- ・ 検知エリア内に熱源や風を出すもの（エアコンの室外機や換気扇など）がある場所

- 次のような場所に取り付けると、検知しにくい場合があります。

- ・ 建物脇の通路など狭い場所
- ・ 検知エリア内に反射の強い床面（大理石など）がある場所
- ・ 周囲に壁や塀などの検知エリアを遮る物がある場所（ガラスのような透明な物でも検知エリアを遮ると検知しません）
- ・ 地面から 1.8m 以下の場所、地面から 3m 以上の場所



動作テスト

取り付け後は必ず動作テストを行い、センサーが正しく検知し、ライトが点灯することを確認してください。

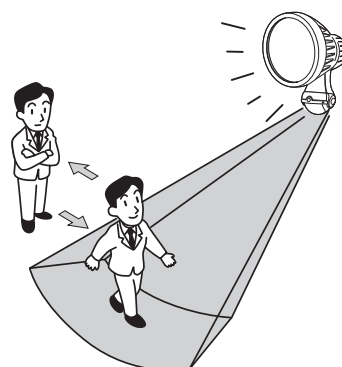
- 1 点灯時間調節ボリュームを左いっぱい（反時計回り）に回し「約 5 秒」に設定します。
「約 5 秒」は出荷時の位置です。
- 2 点灯開始照度調節ボリュームを右いっぱい（時計回り）に回し「昼も夜も点灯 ☉」に設定します。
「昼も夜も点灯 ☉」は出荷時の位置です。
- 3 壁スイッチをONにします。
電源が入った直後は、ウォームアップ（初期安定動作）状態になり 約40秒 ライトが点灯します。
点灯しないときは壁スイッチを切り、10ページ『「おかしいな・・・」と思ったら』を参照してください。



ウォームアップ（初期安定動作）について

壁スイッチを入れた直後は、人の検知にかかわらずライトが点灯します。
これはセンサーが安定するまでの初期動作で故障ではありません。

- 4 ライトが消灯するまで検知エリアの外で待ち、消灯したら検知エリアの中にゆっくりと入ります。再びライトが点灯すれば、センサーは正常に動作しています。
再点灯しない場合や、点灯後検知エリアの外に出ても消灯しない場合は、10ページ『「おかしいな・・・」と思ったら』を参照してください。

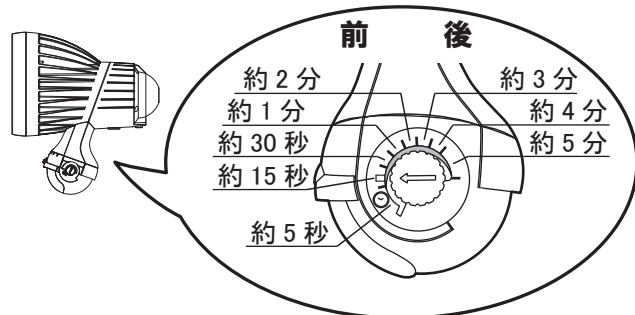


- 5 動作テストが終了したら、点灯時間と点灯開始照度を設定してください。
また、必要に応じてライト部の角度や検知エリアの角度などを再調節してください。

点灯時間と点灯開始照度の設定

点灯時間を設定する

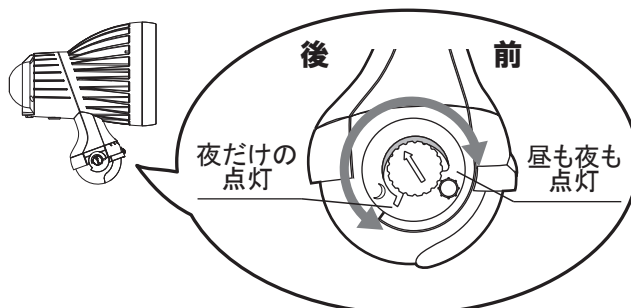
センサーが検知しなくなってからライトが消灯するまでの時間を「点灯時間調節ボリューム」で設定します。



- ・ 約 5 秒から約 5 分の間で図の点灯時間から選択できます。
図の点灯時間の位置は目安です。
- ・ 検知エリア内で人が動き続けると、センサーが再検知し点灯時間は延長されます。
- ・ 出荷時は「約 5 秒」に設定されています。

点灯開始照度を設定する

センサーが検知を開始する明るさを「点灯開始照度調節ボリューム」で設定します。



- ・ 「夜だけの点灯 ☾」の方向に回すと、周囲が暗くなってから点灯します。昼間などの明るいときは点灯しません。
- ・ 「昼も夜も点灯 ☉」の方向（右いっぱい）に回すと、周囲の明るさに関わらず、センサーが検知すると点灯します。
- ・ 出荷時は「昼も夜も点灯 ☉」に設定されています。



ボリュームをマイナスドライバーで回す場合、回しすぎによる破損に注意してください。

連続点灯モードの設定

「連続点灯モード」では、センサの一働きを停止して、連続してライトを点灯します。夜間の作業灯としても使える便利な機能です。

連続点灯モードへの切り替え

センサ点灯モードで使用中

壁スイッチを1秒以内に「OFF」→「ON」

切替後、約2秒後に連続点灯します。
(連続点灯モードに切り替わります)。



連続点灯モードの解除

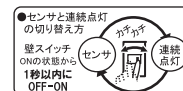
連続点灯モードで使用中

壁スイッチを1秒以内に「OFF」→「ON」

センサ点灯モードに戻ります。



- ・ 付属の壁スイッチ用シールに、切り替え方の説明が書かれています。壁スイッチに貼ってご利用ください。



- ・ 点灯開始照度調節ボリュームが「夜だけの点灯」側(🌙)の位置で、周囲が明るいときは「連続点灯モード」に切り替わりません。
- ・ 点灯開始照度調節ボリュームが「昼も夜も点灯」側(☀️)の位置で、「連続点灯モード」に切り替えた場合、「解除」をするまで点灯しつづけますのでご注意ください。
- ・ 点灯開始照度調節ボリュームが「夜だけの点灯」側(🌙)の位置で、周囲が暗いときに「連続点灯モード」に切り替えると連続点灯しますが、その後周囲が明るくなると自動的に消灯し「センサ点灯モード」に戻ります。
- ・ ウォームアップ中は「連続点灯モード」へは切り替わりません。ウォームアップが終了するのを確認してから、「連続点灯モード」への切り替えを行ってください。



4 「おかしいな…」と思ったら

動作表示灯の見かた

動作表示灯とライトの点灯／消灯によって、動作の状態と異常がわかります。

動作表示灯	LED ライト	動作の状態 (原因)	対 策
点 滅	消 灯	通電中の正常動作で、人を検知していない状態	正常です
高速点滅	消 灯	照度センサーが昼と判定している時に人を検知した状態	正常です
点 灯	点 灯	照度センサーが夜と判定している時に人を検知した状態	正常です
		連続点灯モードで点灯している時の状態	正常です
消 灯	消 灯	電源が切れています	壁スイッチが「OFF」になっていないか確認してください。

※動作表示灯は周囲が明るいときに見えにくい場合があります。

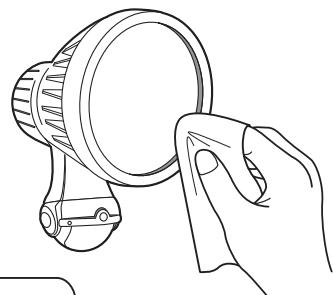
思ったように動作しないときは

●まず最初に、壁スイッチが入っているかご確認ください。

症 状	原 因	対 策
人がいるのに点灯しない	人が検知エリアに入っていない	検知エリアを再確認してください。 詳しくは8ページ「検知エリア図」を参照してください。
	人が動いていない	検知エリア内に人がいても動かないと点灯しないことがあります。 再度動く点灯します。
	人が正面から近づいている	センサーに対して人が正面から近づくと検知しにくい場合があります。 できるだけ検知エリアを横切るように取り付けてください。
	周囲温度と人の温度差が少ない	センサーは人の動きにより発生する温度差を検知するため、左記の場合などは、検知しにくい場合があります。検知範囲の調節をしてください。
	検知エリアの前にガラスなどの遮蔽物がある	センサーの前にガラスや壁などの遮蔽物があると、人の動きを検知できません。遮蔽物を取り除くか、取付場所を変更してください。
	周囲が明るい	照度センサーにより周囲が明るいと点灯しません。周囲が暗くなってから再度確認してください。詳しくは9ページ「動作テスト」を参照してください。
人がいるのに消灯する	人が動いていない	検知エリア内に人がいても動かないと消灯することがあります。 再度動く点灯します。
	点灯時間が短い	点灯時間調節ボリュームを右（時計回り）に回してください。詳しくは9ページ「点灯時間と点灯開始照度の設定」を参照してください。
	検知エリア内に人が入っていない	検知エリアを調節してください。
消灯しない	ウォームアップ時間中である	電源投入後、ウォームアップ状態になり約 40 秒間点灯します。 ウォームアップが終了するまで、検知エリアの外で待機してください。
	あらかじめ設定された点灯時間が長い	点灯時間調節ボリュームを左（反時計回り）に回してください。詳しくは9ページ「点灯時間と点灯開始照度の設定」を参照してください。
	検知エリア内に人がいる	検知エリアから離れてください。 離れてから点灯時間調節ボリュームで設定した時間後に消灯します。
	連続点灯モードになっている	連続点灯モードを解除してください。 詳しくは10ページ「連続点灯モードの設定」を参照してください。
人がいないのに点灯する	検知エリア内に動くものがある（庭木、洗濯物、道路の車、犬や猫など）	動くものがあると、検知して点灯することがあります。また、犬や猫などが検知エリア内を通ると点灯することがあります。取付場所を変更するか、動くものを取り除いてください。詳しくは3ページ「取付場所を決めるときのご注意」を参照してください。
	検知エリア内に熱源や風を出すものがある	検知エリア内や本体付近に熱源や風を出すもの（エアコンの室外機、換気扇など）があると点灯することがあります。取付場所を変更するか、熱源や風を出すものを取り除いてください。詳しくは3ページ「取付場所を決めるときのご注意」を参照してください。
	検知エリアの延長線上に動くものがある	自動車など検知エリアの延長線上を通過すると検知することがあります。また、周囲の温度によって検知距離が変わる場合があります。取付場所を変更するか、検知エリアの範囲を調節してください。詳しくは3ページ「取付場所を決めるときのご注意」を参照してください。
連続点灯モードにならない	ホテルスイッチを使用している	表示灯のついていないスイッチに交換してください。
	ウォームアップ時間中である	ウォームアップ中は連続点灯モードには切り替わりません。 ウォームアップが終了してから切り替えてください。
	あらかじめ設定された点灯開始照度より周囲が明るい	周囲が設定より明るいときは連続点灯モードには切り替わりません（周囲が暗くてもセンサ部が部分的に明るい場合も同様です）。点灯開始照度調節ボリュームを少しずつ右（時計回り）に回して調節してください。詳しくは9ページ「点灯時間と点灯開始照度の設定」を参照してください。
	検知エリア内に光を強く反射するものがある	ライト自身の反射光で消灯することがあります。反射光がセンサーに入らないように、ライトおよびセンサーの向きを調節するか、点灯開始照度調節ボリュームを少しずつ右（時計回り）に回して調節してください。詳しくは9ページ「点灯時間と点灯開始照度の設定」を参照してください。

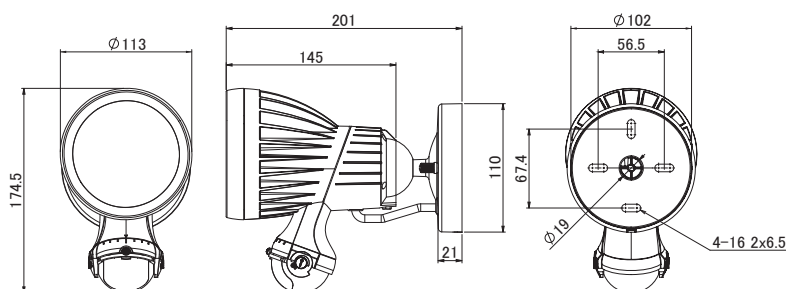
● 汚れたときは

- ・本体の汚れは柔らかい布で乾拭きしてください。
- ・汚れがひどいときは、中性洗剤を水で薄めて布に湿らせ、よく絞ってから拭き取ってください。



- ・水洗いはしないでください。故障の原因になります。
- ・ベンジンやアルコール、シンナーなどの化学薬品は使用しないでください。変色、変形、ひび割れを生じることがあります。

■ 外形寸法図



(単位: mm)

■ 仕様

型式	LA-11PRO(BL)	LA-11PRO(S)
本体色	ブラック	シルバー
定格電圧	AC100V 50/60Hz	
定格消費電力	消灯時: 1W 点灯時: 16W	
光源	LED(昼白色)	
定格光束	1700lm	
検知方式	熱線(パッシブインフラレッド)方式	
使用温度範囲	-20°C ~ +40°C(結露無きこと)	
点灯時間	オフディレイタイマ: 約5秒 ~ 約5分 ボリュームにより可変	
点灯開始照度	約5lx ~ ∞可変 ボリュームにより可変	
点灯モード	センサー点灯モード / 連続点灯モード 切替	
取付高さ	1.8 ~ 3m	
保護構造	IPX5(防噴流形)	
質量(付属品除く)	約0.9kg	
付属品	木ネジ 2本、絶縁ブッシング 2個、 ボールジョイント固定ネジ 1本、 検知エリアマスキングカバー 2個、 壁スイッチ用シール 1枚、 防犯ステッカー 1枚	

※LED の交換はできません。

※LED にはバラツキがあるため、個々の器具ごとに色味・明るさが異なる場合があります。

※外観や仕様は改良のため予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

<保証規定>

I. 保証の範囲

1. 取扱説明書に記載された正常な状態で、保証期間中(お買い上げ日より1年間)に万一故障を起こした場合、無償にて修理いたします。お買い上げ店を通してお問い合わせください。
2. この保証は日本国内での使用に限り適用いたします。

II. 保証の条件

次に該当する故障は、保証期間中であっても実費にて修理を申し受けることがあります。

1. あやまった取り扱い、不当な修理・改造を受けた製品の損傷に起因する故障。
2. 災害など不可抗力による破傷。

オプテックス株式会社

520-0101 滋賀県大津市雄琴 5-8-12
TEL.077-579-8630 FAX.077-579-8170
www.optex.co.jp